

春から夏への大学美術館 2003.4>>>2004.2

韓国国立中央博物館所蔵 日本近代美術展

薩摩雅登

長い眠りから覚めた名品の数々



堅山南風「ぼら網」1936年

美術作品とは、人の手によって一度生み出された後は、時流の中で失われるもの、残るもの、評価の高まるもの、忘れ去られるもの、見直されるものなど、人間の一生と同じように多様な運命をたどっていく。この過程の中で「保存と展示」の繰り返し、この作品の評価さらには運命をも決定すること、この意味で、本年四月に韓国から我が国に一時的に里帰りする日本画と工芸品の七点、作品そのものの魅力と価値を越えて、我々に興味深い問題を投げかけてくれる。

韓国の朝鮮王室(李王家)は一九三五年頃から一九四二年頃にかけて、当時の日本の現代美術、今日でいうところの日本近代美術を二点以上も収集した。その背景に関しては、戦前の日韓関係における政治的・文化政策的な複雑な事情があり、今日でも複雑な問題を含むので、ここでは深く立ち入らない。しかし例えば、古代エジプトやギリシアの貴重な美術品の数々がイギリスの博物館やフランスの美術館に展示されている現実、あるいは今日のアフガニスタン状況などを見ればわかるように、美術作品は時として時代の波に翻弄され数奇な運命をたどりながら、保存と展示によって歴史的評価が定まっていくのである。

このような視点に立てば、収集の経緯はどうか、日本画九三三点、西洋画三七七点、版画四二点、彫刻二点、工芸品四四二点、合計一九八八点の日本近代美術を、戦争や祖国分断といった厳しい状況の中で韓国が今



松田権六「鷺籠文庫」1936年

日まで保存してきたことは賞賛されよう。これらの作品は、戦前はソウルの徳寿宮石造殿で展示されていたが、日本が敗戦し撤退した一九四五年以降は韓国国立中央博物館収蔵庫に厳重に保管され、一度も公開されることなく、我が国でも一部の専門家が戦前に出版された図録などで知るのみであった。

戦後の東西冷戦構造が終結し、二一世紀を迎えた二二年秋、日韓共同開催で成功を収めたワールドカップの余波を受けて、この中から比較的保存状態の良い作品七点が韓国国立中央博物館で約六年ぶりに公開された。まさに眠りから覚めた美術品を一目見ようと日本からも研究者や美術愛好家が多く訪れたが、それはいささか徒勞であった。というのは、そこに展示され

展覧会予定

(2003.4 - 2004.2)

大学美術館本館

韓国国立中央博物館所蔵 日本近代美術展

4月3日(木)～5月11日(日)
入場料1,200円
(芸大コレクション展もご覧になれます)

芸大コレクション展

日本の洋画～明治から昭和前期～
4月3日(木)～5月5日(月・祝)
入場料300円

テイ・ブリン登 世界巡回展 「ヴィクトリアン・ヌード」 19世紀英国のモラルと芸術

5月24日(土)～8月31日(日)
入場料1,300円

「工芸」現代までの110年の軌跡
日本の金工・漆芸・染織・
陶芸の名品240点でたどる
近代から現代への歩み
10月7日(火)～11月30日(日)
有料

芸大コレクション展 日本画の名品(仮称)

12月13日(土)～2月8日(日)
入場料300円

退官教官展(2教官)

2003年1月中旬～2月初旬
入場無料

第52回卒業・修了制作展

2月21日(土)～2月26日(木)
入場無料

陳列館

2002年度

博士研究発表展
～4月28日(月)まで
入場無料

3カ国交流課題作品展

5月7日(水)～5月18日(日)
入場無料

デザイン学会 50周年記念展

5月23日(金)～5月25日(日)
入場無料

ミュンヘン国立芸術アカデミー 東京芸術大学交流展

5月30日(金)～6月15日(日)
入場無料

彫刻の身体

7月1日(火)～7月21日(月)
入場無料

日本画第1研究室発表展

NASDA宇宙開発事業団との共同研
究の成果発表
10月25日(土)～11月3日(月・祝)
入場無料

ソウル大学校交流展

11月11日(火)～11月14日(金)
入場無料

取手館

美術学部取手校地創作展

12月 入場無料

開館時間は、いずれも10時～17時。
月曜日休館。ただし月曜日が祝日の場
合、開館することがあります。

展覧会の名称・会期については、変更
することがあります。

本学には駐車場はありませんので、お
車のご来館はご遠慮ください。

展覧会についてのお問い合わせ
東京芸術大学大学美術館

Tel.03-5685-7755

NTTハローダイヤル

Tel.03-5777-8600

展覧会の紹介は、下記ウェブサイトで
ご覧になれます。

<http://www.geidai.ac.jp/museum/>



横山大観「静寂」1937年



川合玉堂「深山春暁」1938年



海野清「金銀鍍雲宝珠文小壺」

た日本画四五点と工芸品二五点が、四月から六月にかけて東京芸術大学大学美術館と京都国立近代美術館で公開されるからである。これらの作者には横山大観、前田青邨、海野清、松田権六など東京美術学校関係者が多いうえ、海外の一流美術館との交流展は大学美術館の基本方針の

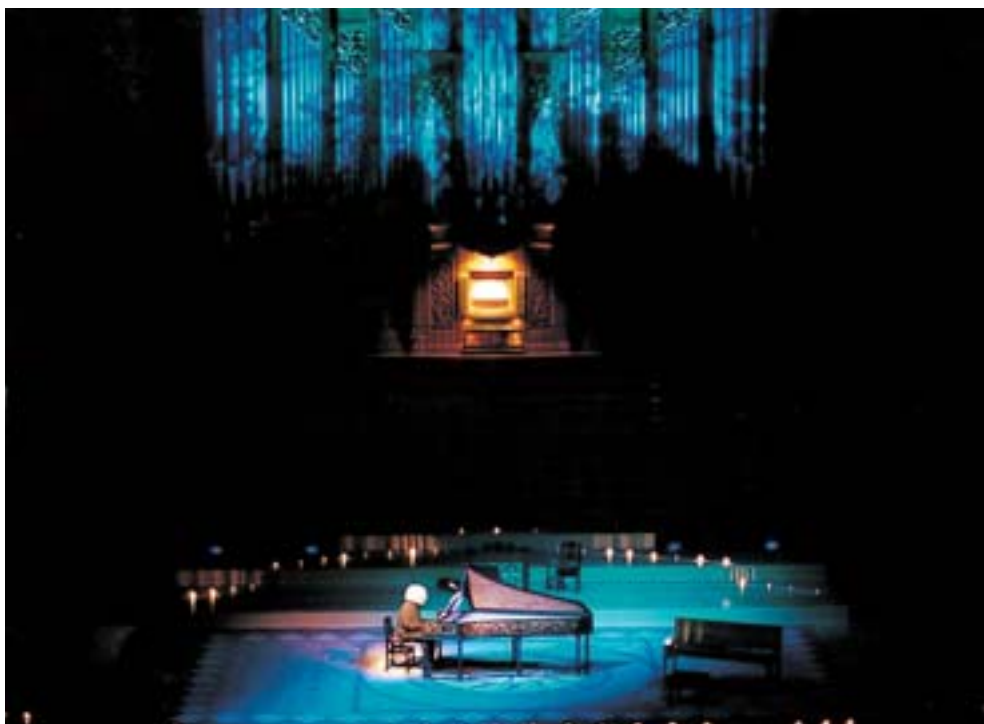
ひとつなので、外交的にも微妙な展覧会であることは承知のうえで二年前から水面下で準備を重ねてきた。多方面から話題になる展覧会だろうが、そのためにもますます無事に展示公開することに全力を注ぎたい。
(さつま・まさと/大学美術館助教授)

春から夏への奏楽堂 2003.4>>>2004.2

上野の森 音楽むかしばなし
名曲メイキング芝居

「お芝居」が古い音楽に新しい息吹をもたらす

大塚直哉



"オルガン+ シリーズ"より(下写真とも)

喜劇役者さんの登場する風変わりなコンサートとして話題を集めた四回の「オルガン+」シリーズ、その続編として平成十

五年度から、上野の森音楽むかしばなしシリーズが始まります。「オルガン+」が始まったとき、そもそ

も教会にあるはずの大オルガンの音楽を現代のコンサートホールで聞くときに生ずるある種の違和感というか、現実感のなさのようなものを何とかして克服したいという思いがあったのです。そのためには、「解説」を加えることに必死になるよりも、本来その音楽が演奏されるときにまもっていたはずの空気や雰囲気、機会といった「場」とても呼ぶべきものを、いっそも芝居で生み出してしまっただろうか、というのが仕掛け人である鈴木雅明氏のアイデアでした。実際、このような「場」のなかで、ふだんはやや近寄りがたい感じの古いオルガン音楽がいつもとは違った貌を見せたのです。

オルガン音楽に限らず、ヨーロッパの古い音楽のなかには現代のコンサートホールになじみにくいものも多くあります。それらの魅力をどうやったらいきいきと伝えることができるのか、上野の森音楽むかしばなしシリーズで引き続き挑戦していくこととなりました。まず五月の第1話ではレオナン、ペロタン、マシヨールといった古い古い音楽を、また七月の第2話では一七世紀はじめのイタリアの作曲家バンキエリのマドリガル・コメディを、十一月の第3話ではヘンデルのオペラ名場面集を集めて当シリーズ・オリジナルのバステイッチョ（「つきはぎオペラ」）をお送りする予定です。「音」によるむかし話をしてくれるお



じいさん役仕掛け人の鈴木雅明、演出の国松真知子と役者さんたちほか先シリーズからおなじみのスタッフで臨みます。

役者さんのお芝居に刺激されて、古めかしいはずの音の数々がこの現代風の奏楽堂でどんなつややかな輝きを放つか楽しみでなりません。

(おおつか・なおよ／音楽学部古楽科助手)

世界のマエストロを迎えて
第2回

イタリアの巨匠ネルロ・サンティの登場

前田信

「世界のマエストロを迎えて」第2回演奏会が、六月五日、奏楽堂で開催されます。

このシリーズは一年に一度、開催することを原則として平成十四年度から始まった企

奏楽堂演奏会予定

(2003.4～2004.2)

定期演奏会・特別演奏会予定

4月10日(木)
芸大シンフォニア英国公演
帰国演奏会

4月17日(木)
モーニング・コンサート第1回

4月24日(木)
モーニング・コンサート第2回

5月3日(土・祝)
「相聞」・「竹取物語」
- 物語の出で来はじめの祖 -

5月15日(木)
モーニング・コンサート第3回

5月18日(日)
上野の森 音楽むかしばなし
～名曲メイキング芝居～
第1話 ノートルダムの恋物語
～れおなん、ペロたん、ぎょうむ・ましよう～

5月22日(木)
モーニング・コンサート第4回

5月29日(木)
モーニング・コンサート第5回

6月5日(木)
世界のマエストロを迎えて第2回
ネルロ・サンティ

6月10日(火)
芸大定期邦楽第66回

6月12日(木)
モーニング・コンサート第6回

6月20日(金)
芸大定期オーケストラ第303回「新卒業生紹介演奏会」

6月21日(土)
楽器シリーズ 「クロマティック・ハーモニカの至芸」

6月27日(金)
芸大定期オーケストラ第304回

7月1日(火)
"うた シリーズ 第1日

7月3日(木)
モーニング・コンサート第7回

7月6日(日)
上野の森 音楽むかしばなし
～名曲メイキング芝居～
第2話 ヴェネチアからパドヴァへの船旅
～パンキエリのマドリガル・コメディ～

7月10日(木)
モーニング・コンサート第8回

7月14日(月)
芸大定期チェンバー・オーケストラ第1回

7月17日(木)
モーニング・コンサート第9回

9月4日(木)
モーニング・コンサート第10回

9月11日(木)
モーニング・コンサート第11回

10月10日(金)
芸大定期オペラ第49回 第1夜

10月11日(土)
芸大定期オペラ第49回 第2夜

10月24日(金)
芸大定期オーケストラ第305回

10月25日(土)
"うた シリーズ 第2日

10月30日(木)
附属音楽高等学校定期演奏会

11月2日(日)
ピアノシリーズ2003
(プロコフィエフ没後50年) 第1日

11月6日(木)
室内楽演奏会V
ハイドン弦楽四重奏曲全曲演奏シリーズ第1日

11月7日(金)
室内楽演奏会V
ハイドン弦楽四重奏曲全曲演奏シリーズ第2日

11月9日(日)
有賀誠門退官記念プロデュース
ORCHESTRA EXPERIMENTS

11月21日(金)
芸大定期合唱・オーケストラ第306回

11月24日(月・祝)
上野の森 音楽むかしばなし
～名曲メイキング芝居～
第3話 ヘンデル：バステイチオ
～ヘンデルのオペラ名場面集～

11月28日(金)
芸大定期学生オーケストラ第307回

11月30日(日)
ピアノシリーズ2003
(プロコフィエフ没後50年) 第2日

12月1日(月)
芸大定期吹奏楽第69回

12月2日(火)
芸大定期邦楽第67回

12月6日(土)
"うた シリーズ 第3日*

12月14日(日)
ピアノシリーズ2003
(プロコフィエフ没後50年) 第3日

2004年2月12日(木)
モーニング・コンサート第12回

2月12日(木)
芸大定期室内楽第30回第1日

2月13日(金)
芸大定期室内楽第30回第2日

2月20日(金)
芸大定期チェンバー・オーケストラ第2回

2月22日(日)
楽器シリーズ 「和楽器」

平成15年1月30日現在の予定表です。
今後、演奏会内容、日程などについては、変更することがあります。

演奏会の曲目、開演時間などの詳細については、決定次第、大学ホームページで発表します。
<http://www.geidai.ac.jp>

本学には駐車場はありませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

チケットの取り扱い
チケットぴあ0570-02-9990 / 東京文化会館チケットサービス03-5815-5452 / 東京芸科大学美術館ミュージアムショップ03-5685-1176

上記の演奏会のほか、「学内演奏会」の日程については、下記にお問い合わせください。
演奏会のお問い合わせ先
演奏芸術センター演奏係
03-5685-7700

画です。
昨年四月に開催されました第1回でのG・ロジェストヴェンスキー氏に続き、今回はネルロ・サンティ(Nello SANTEI)氏が登場します。サンティ氏は、現在最高のオペラ指揮者のひとりとして評価を不動のものとしています。もう一面、シンフォニー・コンサート指揮者としての活躍も多です。今回は、いわゆる「歌なし」のプログラムを希望されています。
第1回では、ハイドンのオラトリオへ四

季の公演によって声楽科の学生による合唱とオーディションで選ばれた三名の学生のソリストとの接点がありました。今回は演奏会の翌日に学生オーケストラの指導をしていただくことが計画されています。直接、学生に接する機会を必ず組み込むという教育目的もあわせて、お迎え、するという企画です。オーケストラは毎回、管弦楽研究部オーケストラ(芸大フィルハーモニア)が担当します。
(まえた・しんきち/管弦楽研究部講師)



ネルロ・サンティ氏 撮影 = 浦野俊元 写真提供 = 読売日本交響楽団